



HPはこちらから

青藍会

検索

まだまだ暑さは続きますが、暦のうえではもう秋になります。みんなで秋を探しに出かけて、少しでも涼しさを感じたいものですね。

## 発熱した時は・・・

発熱は、病気や体の異常を知らせるサインであると同時に、体内に侵入してきた細菌やウイルスと戦って免疫力を高め、体を守っている最中の状態でもあります。普段のお子さまの平熱をきちんと把握し、急な発熱にも慌てず対応しましょう。

### お家でのケアの仕方

#### ① 水分補給



湯冷まし、麦茶、子ども用イオン水、経口補水液果汁などが適しています。子どもが進んで飲みたがる物を与えましょう。



#### ② 食事



食欲があれば、喉越しがよく、消化によい物を与えましょう。乳児で食欲がない場合は1回の量を減らし、回数を増やして与えてみましょう。



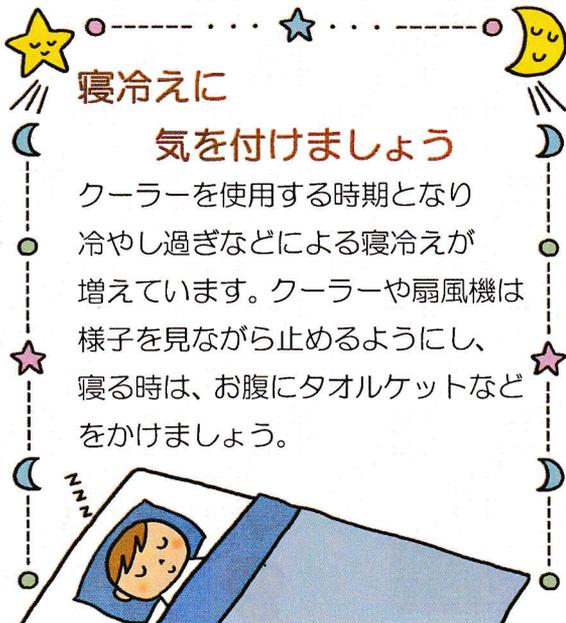
#### ③ 衣服



熱の上がり始めて寒がる時は保温できる服を着せ、熱が上がりきったら薄着に替えます。汗をかいたらぬるま湯に浸し固く絞ったタオルで体を拭いてあげましょう。汗をかいた体がさっぱりし、熱を放散させる効果もあります。

### こんな時はすぐ病院へ！

生後3カ月前後の月齢の低い乳児の発熱や、脱水症状、嘔吐、下痢、呼吸困難、顔色が悪いなどの症状が見られる時は早急に受診しましょう。



### 寝冷えに

#### 気を付けましょう

クーラーを使用する時期となり冷やし過ぎなどによる寝冷えが増えていきます。クーラーや扇風機は様子を見ながら止めるようにし、寝る時は、お腹にタオルケットなどをかけましょう。

### かぜの後の登園について

症状がすっかり治まった後も、ウイルスの排出が数日間続きます。家庭のみで「治った」と判断するのは控え、かかりつけの医師の診断を受け、許可をもらってから登園しましょう。感染症にかかった時などは、出席停止期間をきちんと守り、二次感染が起らないようにしましょう。



アデノウイルス感染症・・・8件

7月の主な疾患 咽頭炎・・・6件 風邪・・・8件

流行性耳下腺炎疑い・・・1件 胃腸炎・・・3件

他